

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 22日

事業所名 ワークショップひなげし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				
	2	職員の配置数は適切である	5	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			エレベーター、手すりが設置されており、トイレについても支援に十分な広さを保っている。	施設内はバリアフリーとなっているが、肢体不自由児の受入れも積極的に行っていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		スタッフ会議を定期的に行い、支援の確認をおこなっている。	会議の内容については参加出来なかった職員にも周知できるように記録を作成し、共有を図っている。PDCAサイクルの徹底含め、今後も継続していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1			評価表の実施については普段なかなか確認できていない部分を確認する貴重な機会と考えています。保護者の方にいただいたご意見を踏まえ、業務の改善に努めたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		現在は行われいない。今後法人全体の課題として検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5				事業所内研修、事業所外研修は年間計画をたてて実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		事業所内で統一したものを使用している。	現在は統一したものを使用しているが、今後、児童に合わせたものも検討したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			活動プログラムの内容は年間で検討している。活動の大枠は固定されているがそのなかでのプログラムには変化をつけられるよう、職員がそれぞれ担当し、検討している。	活動プログラムの立案は事業所としても力を入れている部分です。利用者の皆さんが楽しく活動しながら支援を行えるよう今後も検討したいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2			長期休暇については児童の変化も出やすくまた生活リズムも崩れやすくなると思うので、課題を整理し支援していきたいと思ます。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		1日の利用者の人数が少人数であるため、個別支援が中心となっています。	集団活動の機会も大切だと考えているので、機会がつかれるように検討していきたいと思います。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		支援終了後の共有は難しい場合があるので、次回の利用前までには共有できるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1			
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2			職員の周知を図りたい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			お迎えの際に必要な情報が共有できるよう、何かあれば事業所側からも確認するようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2			現在受け入れの実績はない。受け入れの体制が整えられれば受け入れの際は連絡体制を確保する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1			就学のタイミングで利用を開始される方については情報が共有し、継続した支援が行えるようにしていきたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			本人、保護者、学校、相談支援専門員、当事業所職員が参加する担当者会議または移行会議にて情報提供および共有を図っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2			現状では連携まで至っていない。研修会への参加を検討していきたい。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	1		長期休暇等を利用し児童館等に出向く活動から取り入れてみたい。	

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2			参加する場面がこれまではない。機会があれば参加を検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			活動後、ご家族に引き継ぐ際には1日の様子をお伝えし、共有できるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2			保護者に対しての支援については現状ではほとんど取り組めていない。具体的な取り入れ方についての情報を集め、検討していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			必要となる費用については契約時説明させていただき、追加で必要な費用が発生した際はその都度書面でお知らせしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		送迎時や利用の際の連絡ノート、またはお電話でお話させていただいている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情窓口を置き、迅速に対応出来るよう体制をとっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2			
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		毎年、事業所のバザーを開催し、地域の方々にもたくさん来場していただいている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2			マニュアルは作成されているが、周知という点については不足している。特に保護者の皆さんまでの周知は徹底されていないところがあるため、今後努めていきたい。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			事業所としては実施しているが、タイミングにより、児童の参加が難しい。		

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			スタッフ会議等でケース検討の他事業所内での虐待防止研修を実施し、職員の参加を確保している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3			現状では対象となる方はいらっしゃらないが、対応が必要な場合は適切な手順をとっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				現時点では食物アレルギーの方の利用はないが、今後想定されるため、ご家族に相談していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		随時ヒヤリハットを実施している。	